

## 第3回国連防災世界会議 パブリックフォーラム

# 東日本大震災の教訓を漫画で学ぼう！ 子どもが考え、行動できる防災へ

**日時** 2015年3月14日(土)17:00~19:00(開場 16:00)

**会場** TKP ガーデンシティ仙台勾当台 3階 ホール3

定員 100名  
同時通訳あり  
入場無料

東日本大震災の経験から、子どもが災害から身を守るための知識を得るだけでなく、災害時に自分で考え、行動できる力を身につけることの重要性が認識されています。セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは、子どもの命が守られ、子どもが主体的に防災に参加することを目指して、被災者へのインタビューをもとに防災教育教材「とっさのひとこと」などを開発しました。この防災教育教材を用いた、宮城県東松島市、インドネシア、フィリピンにおける防災教育の実践事例を報告します。



宮城県東松島市立鳴瀬未来中学校  
防災主幹教諭  
木村 幹夫氏



セーブ・ザ・チルドレン・フィリピン  
シニア・アドバイザー(防災、気候変動)  
ウェイン・オーリック



セーブ・ザ・チルドレン・インドネシア  
シニア・プログラムオフィサー  
(包括的な学校保健・防災プロジェクト)  
アンディ・ウィダヤット



16時からお茶を用意してお待ちしています！

### \*お申込み・お問い合わせ\*

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン  
仙台事務所 菅原絵美  
〒980-0804 仙台市青葉区大町 1-3-7 横山ビル 2F  
TEL:022-263-4561 FAX:022-263-4562  
Email: sugawara@savechildren.or.jp



セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは第3回国連防災世界会議を支援しています。

## <セミナーの内容>

- ▶セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン東日本大震災復興支援事業の活動概要
- ▶世界の子ども支援団体が推進している包括的な学校の安全 (Comprehensive School Safety)
- ▶宮城県東松島市、フィリピン、インドネシアにおける
  - ・学校での防災教育の現状
  - ・「とっさのひとこと」を用いた防災学習の事例
  - ・子どもを中心として学校や地域が連携した防災の取り組み

## ■防災教育教材「東日本大震災の教訓から学ぼう！ とっさのひとこと」

東日本大震災の教訓がたくさん含まれた漫画で学ぶ防災教育教材です。岩手県と宮城県の 50 名に、災害時の状況、苦勞したこと、役に立ったことなどをインタビューして作りました。3 コマ漫画で災害時の状況を再現し、3 コマ目の空白の吹き出しに入るセリフを考えることによって、登場人物の置かれている状況や気持ちを理解し、主体的に行動することを学びます。セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとNPO 法人プラス・アーツが共同で開発しました。

## ■宮城県東松島市立鳴瀬未来中学校 防災主幹教諭

木村幹夫氏

東日本大震災当時、鳴瀬第二中学校に勤務しており、校舎内から津波を目の当たりにする。「自らの命を守る防災教育」を目指して、鳴瀬未来中学校区の 3 小 1 中学校で、9 年間を見通した防災教育カリキュラムの作成および地域の自主防災組織との連携に取り組んでいる。

## ■セーブ・ザ・チルドレン・フィリピン シニア・アドバイザー(防災・気候変動) ウェイン・オーリック

緊急人道支援・災害復興支援に豊富な経験を持ち、2005 年のインド沖地震・津波や 2013 年フィリピンのハイアン台風発生時、およびアフガニスタン、タジキスタン、ルワンダなど紛争が多発している地域で支援活動を行った。現在は、フィリピンで防災プロジェクトの立案・実施に専門家として対技術支援を行っている。

## ■セーブ・ザ・チルドレン・インドネシア シニア・プログラムオフィサー(包括的な学校保健・防災プロジェクト)

アンディ・ウイダヤット

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが実施している包括的な学校保健・防災プロジェクトをジャカルタ北部で実施している。現場での豊富な活動経験をもとに、行政と連携しながら、子どもや地域の人たちへの防災教育を行い、防災力向上を図っている。

## 会場

### TKP ガーデンシティ仙台勾当台

980-0803

宮城県仙台市青葉区国分長 3-6-1

仙台パークビル

Tel: 022-726-5072

URL:

<http://tkpsendai.net/koutoudai/about.shtml>

※ 市営地下鉄南北線

勾当台公園駅より徒歩 1 分

